

令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」

「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	ACアーク炉用電源システム
型番	Active Power Feeder (APF)
会社名	Primetals Technologies Japan, Ltd.
本社所在地	広島市西区観音新町4-6-22
会社WEBページURL	https://www.primetals.com/jp/
製品紹介ページURL	https://www.primetals.com/fileadmin/user_upload/content/01_portfolio/16_Automation-Digital-Plants/16_8_Power/ACTIVE_POWER_FEEDER.pdf

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	Primetals Technologies Japan, Ltd. 営業統括部 営業第一部 部長 田中 仁 E-mail:hitoshi.tanaka@primetals.com
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	製鉄分野、金属材料溶解プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：k1）	1964.0	k1/年	%
工場・事業場当たりの想定省エネ率	—	%	%
設備・システム当たりの想定省エネ率	8.3	k1/千万円	%
導入事例における費用対効果（年間）	14.0	円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	1,400,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	4,000,000	円/年	

製品・システムの概要

Active Power Feeder (APF) は、 ACアーク炉 (EAF) 用に特別に設計された最新の電源システムである。APFの主な特徴は次のとおり。

- ・グリッド（送電系統）から有効電力を高力率でEAFに供給
- ・EAFの溶解プロセスを動的かつ効率的に制御
- ・高エネルギー効率、高生産性、安定操業、高可用性を実現
- ・無効電力補償装置 (SVC, STATCOM等) が不要

APFのメリットは、EAF側とグリッド側を分離し、高速・無段階のデジタルアクチュエータでそれぞれ個別に制御できることである。

タップ切替や電極アーム動作のようなメカトロアクチュエータによってEAFを低速で制御することしかできない従来の方式と比較して、高速で無段階のデジタルアクチュエータを備えたAPFは、プロセス外乱に瞬時に対応し、EAFの電源投入時間や電力消費量、電極損耗量を削減することができる。

APFはアクティブ・フロントエンド (AFE) を備えており、グリッド側のPCC (Point of Common Coupling: 受電点)において、電力品質を制御できる。AFEにより、グリッドに対する力率を最大化し、EAFから発生する高調波歪みやフリッカーを除去することができる。

先進性についての説明

Active Power Feeder (APF) は、独自技術である高電圧モジュラーマルチレベルコンバータ (MMC) 技術によるACアーク炉のアクティブ給電が可能である。以下に示す先進機能により、グリッド側の電力品質を制御すると共に、EAFの不安定な挙動を抑制し、EAFの高エネルギー効率、高生産性、安定操業、高可用性を実現する。

- ・ボーリング期、溶解期、精錬期の各工程で、プロセス条件やアーク安定性に応じてEAFを動的に制御し、電源投入時間を短縮
- ・EAF側およびグリッド側、それぞれのアンバランスを回避するため、三相交流の位相を個別に制御
- ・省エネの為、プロセス条件やアーク安定性に応じ出力周波数を制御

製品・システムの概要・イメージ図

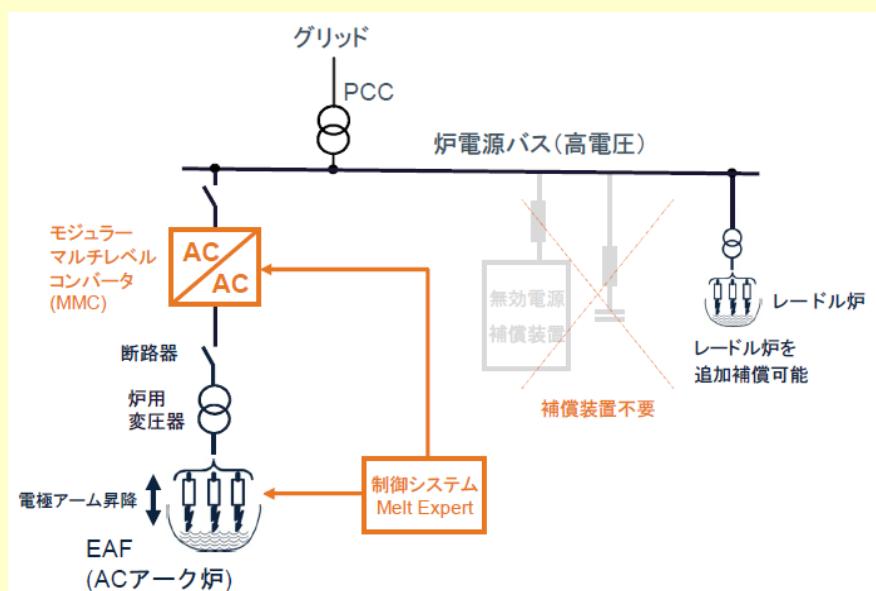
APFは次のコンポーネントで構成される。

- モジュラーマルチレベルコンバータ (MMC)
- 制御システム (Melt Expert)

既設の炉用変圧器を使用可能であり、必要に応じて、炉用変圧器を新設することもできる。

既設のスイッチギア、炉用遮断器も再使用可能。

無効電力補償装置、直列リアクトルは不要である。



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	製鉄	対象設備・プロセス	金材料溶解プロセス
-------	----	-----------	-----------

【採用例】

- BGH Siegen (ドイツ) 既設EAF (50ton) 40MVA、2023年受注、2025年稼働

